

学際・融合科学研究科

学際・融合
科学研究科共通

研究指導概要

博士前期課程

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・論文題目に合わせ、基礎科目、専門科目の履修指導を受ける。
- ・研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法論を修得する。

2 セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成の指導を受ける。
- ・到達目標を踏まえた達成状況に応じて、研究計画の確認や見直しを行う。
- ・研究テーマに関連した研究課題や研究方法についてプレゼンテーションと討論を経験させ、プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。

3 セメスタ

- ・確定した研究テーマに基づいて調査、実験を行い、研究方法の妥当性を検証しつつ、研究成果のとりまとめを行う。
- ・国内外の学会発表、論文投稿等、積極的に取り組めるよう指導を受ける。

4 セメスタ

- ・修士論文の骨子について、検討する。
- ・研究精度を高め、修士学位論文にまとめる。

博士後期課程

1. 各セメスタの指導内容

1 セメスタ

- ・論文題目に合わせ、実験装置の操作技術を修得する。
- ・研究計画を立案し、調査、実験等の研究方法を確認する。

2 セメスタ

- ・国際学会での論文投稿や学会発表を視野に、研究に関連する英語のレビュー作成の指導を受ける。
- ・研究テーマに関連した英語によるプレゼンテーションと討論を経験し、英語のプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養う。

3 セメスタ

- ・確定した研究テーマに基づいて調査、実験を行う。
- ・研究方法の妥当性を検証し、研究成果のとりまとめと評価を行う。

4 セメスタ

- ・自らの問題意識に基づいて研究関連分野の最近の研究活動の状況等のレビュー作成指導を受ける。
- ・研究精度を高め、博士論文に活かすため、国内外の学会発表等に積極的に取り組めるよう指導を受ける。

5 セメスタ

- ・国内外での論文投稿、学会発表を通じて、研究の精度や内容の充実を図る。

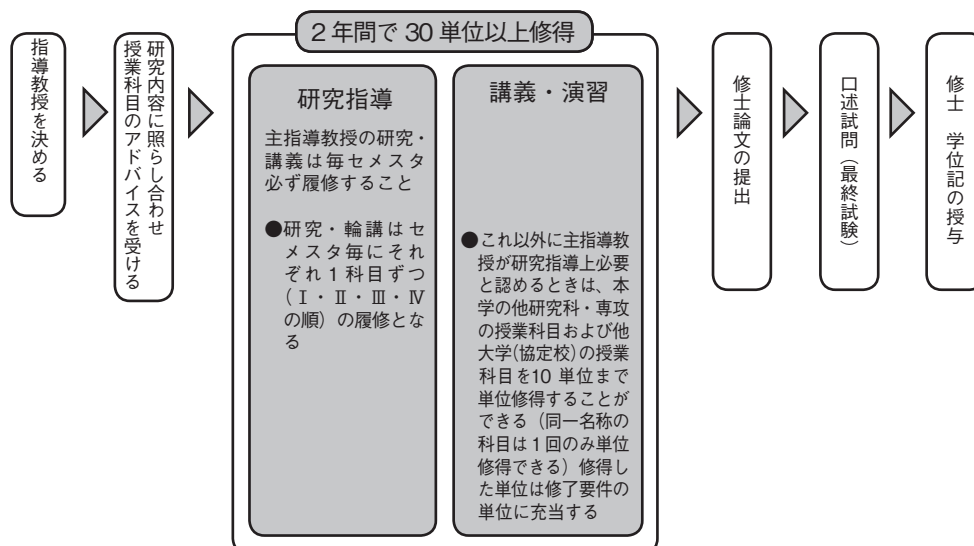
6 セメスタ

- ・掲載論文数を確認し、博士論文の骨子を検討する。
- ・研究精度を高め、博士学位論文にまとめる。

バイオ・ナノサイエンス融合専攻

前期課程

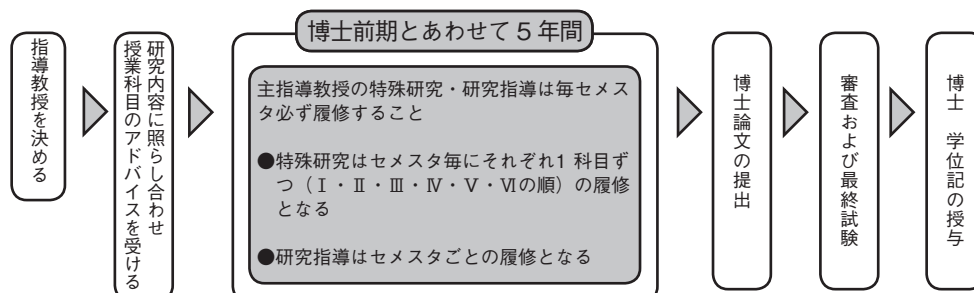
履修の流れ



バイオ・ナノ
サイエンス融合

後期課程

履修の流れ



バイオ・ナノサイエンス融合専攻 (Course of Bio-Nano Science Fusion)

博士前期課程 (Master's Course)

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	職 名 Job Titles at University	担当教員 Academic Staff	備 考 Notes
バイオ・ナノサイエンス融合概論 Introduction to Bio-nano Science Fusion	講 義 Lecture	2	NBI610	教 授 Professor	前 川 透 Toru Maekawa	
科 学 技 術 英 語 English for Science and Technology	講 義 Lecture	2	ENG611	教 授 Professor 教授 Professor	前 川 透 ク マ ー ル Toru Maekawa D.Sakthi Kumar	
基 礎 数 学 Fundamental Mathematics	講 義 Lecture	2	MAT612	教 授 Professor	森 本 久 雄 Hisao Morimoto	
基 礎 物 理 Fundamental Physics	講 義 Lecture	2	PHY613	特 任 准 教 授 Research Associate Professor	内 田 貴 司 Takashi Uchida	
基 礎 化 学 Fundamental Chemistry	講 義 Lecture	2	BSC614			本年度休講 (隔年開講) No class in 2016
基 礎 バイオテクノロジー Fundamental Biotechnology	講 義 Lecture	2	BAB615	特 任 准 教 授 Research Associate Professor	水 木 徹 Toru Mizuki	
微 生 物 学 Microbiology	講 義 Lecture	2	APM616	教 授 Professor	宇佐美 論 Ron Usami	
極 限 環 境 微 生 物 学 Extremophiles	講 義 Lecture	2	APM617	教 授 Professor	宇佐美 論 Ron Usami	
ナノエレクトロニクス Nanoelectronics	講 義 Lecture	2	NMS618	教 授 Professor	花 尻 達 郎 Tatsuro Hanajiri	
ナノ材料概論 Nano Materials	講 義 Lecture	2	NAE619	特 任 准 教 授 Research Associate Professor	中 島 義 賢 Yoshikata Nakajima	
生体材料およびナノテクノロジー Bio materials and Nanotechnology	講 義 Lecture	2	NAE620	教 授 Professor	ク マ ー ル D.Sakthi Kumar	
バイオ・ナノサイエンス Bio Nano Science	講 義 Lecture	2	NBI621	教 授 Professor	ク マ ー ル D.Sakthi Kumar	
先端ナノサイエンス・ナノテクノロジー Advanced Nano Science and Nanotechnology	講 義 Lecture	2	NBI622	教 授 Professor	ク マ ー ル D.Sakthi Kumar	
先 端 機 器 ワークショップ I Workshop on Advanced Equipment I	演習(実験) Workshop	2	ITS623	特 任 准 教 授 特 任 准 教 授 非 常 勤 講 師 Research Associate Professor Research Associate Professor Part-time lecturer	内 田 貴 司 中 島 義 賢 鷗 飼 智 文 Takashi Uchida Yoshikata Nakajima Tomofumi Ukai	
先 端 機 器 ワークショップ II Workshop on Advanced Equipment II	演習(実験) Workshop	2	ITS624	特 任 准 教 授 特 任 准 教 授 非 常 勤 講 師 Research Associate Professor Research Associate Professor Part-time lecturer	内 田 貴 司 中 島 義 賢 鷗 飼 智 文 Takashi Uchida Yoshikata Nakajima Tomofumi Ukai	
先 端 機 器 ワークショップ III Workshop on Advanced Equipment III	演習(実験) Workshop	2	ITS625	特 任 准 教 授 特 任 准 教 授 Research Associate Professor Research Associate Professor	内 田 貴 司 水 木 徹 Takashi Uchida Toru Mizuki	
先 端 機 器 ワークショップ IV Workshop on Advanced Equipment IV	演習(実験) Workshop	2	ITS626	特 任 准 教 授 特 任 准 教 授 Research Associate Professor Research Associate Professor	内 田 貴 司 水 木 徹 Takashi Uchida Toru Mizuki	
ウ エ ブ 教 育 I Web Education I	演 習 Research	2	ITS627	教 授 Professor	前 川 透 Toru Maekawa	
ウ エ ブ 教 育 II Web Education II	演 習 Research	2	ITS628	教 授 Professor	前 川 透 Toru Maekawa	

バイオ
ナノ
サイエンス
融合

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	職 名 Job Titles at University	担当教員 Academic Staff	備 考 Notes
バイオ・ナノサイエンス融合研究Ⅰ Bio-Nano Science Fusion ResearchⅠ	演 習 Research	2	REG602		(各指導教員) 宇佐美、花尻、前川、 森本、クマール、内田、中島、 水木 (Supervisors) Usami, Hanajiri, Maekawa, Morimoto, Kumar, Uchida, Nakajima, Mizuki	
バイオ・ナノサイエンス融合研究Ⅱ Bio-Nano Science Fusion ResearchⅡ	演 習 Research	2	REG603			
バイオ・ナノサイエンス融合研究Ⅲ Bio-Nano Science Fusion ResearchⅢ	演 習 Research	2	REG604			
バイオ・ナノサイエンス融合研究Ⅳ Bio-Nano Science Fusion ResearchⅣ	演 習 Research	2	REG605			
バイオ・ナノサイエンス融合輪講Ⅰ Bio-Nano Science Fusion SeminarⅠ	演 習 Research	2	REG606			
バイオ・ナノサイエンス融合輪講Ⅱ Bio-Nano Science Fusion SeminarⅡ	演 習 Research	2	REG607			
バイオ・ナノサイエンス融合輪講Ⅲ Bio-Nano Science Fusion SeminarⅢ	演 習 Research	2	REG608			
バイオ・ナノサイエンス融合輪講Ⅳ Bio-Nano Science Fusion SeminarⅣ	演 習 Research	2	REG609			

博士後期課程 (Doctoral Course)

授業科目・研究指導 Title	講義・演習の別 Lecture or Research	単位 Unit	科目ナンバリング Numbering Code	職 名 Job Titles at University	担当教員 Academic Staff	備 考 Notes
◇研究指導						
バイオ・ナノサイエンス融合特殊研究Ⅰ Advanced Bio-Nano Science Fusion ResearchⅠ	講義・実験 Lecture・Research		REG702		(各指導教員) 宇佐美、花尻、前川、 森本、クマール、内田、中島、 水木 (Supervisors) Usami, Hanajiri, Maekawa, Morimoto, Kumar, Uchida, Nakajima, Mizuki	
バイオ・ナノサイエンス融合特殊研究Ⅱ Advanced Bio-Nano Science Fusion ResearchⅡ	講義・実験 Lecture・Research		REG703			
バイオ・ナノサイエンス融合特殊研究Ⅲ Advanced Bio-Nano Science Fusion ResearchⅢ	講義・実験 Lecture・Research		REG704			
バイオ・ナノサイエンス融合特殊研究Ⅳ Advanced Bio-Nano Science Fusion ResearchⅣ	講義・実験 Lecture・Research		REG705			
バイオ・ナノサイエンス融合特殊研究Ⅴ Advanced Bio-Nano Science Fusion ResearchⅤ	講義・実験 Lecture・Research		REG706			
バイオ・ナノサイエンス融合特殊研究Ⅵ Advanced Bio-Nano Science Fusion ResearchⅥ	講義・実験 Lecture・Research		REG707			
バイオ・ナノサイエンス融合研究指導 Supervised Bio-Nano Science Fusion Research			REG708		(各指導教員) 宇佐美、花尻、前川、 森本、クマール、内田、中島、 水木 (Supervisors) Usami, Hanajiri, Maekawa, Morimoto, Kumar, Uchida, Nakajima, Mizuki	

バイオナノ
サイエンス融合

履修方法

博士前期課程

- 原則として、バイオ・ナノサイエンス融合研究Ⅰ～Ⅳ、バイオ・ナノサイエンス融合輪講Ⅰ～Ⅳの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修しなければならない。
- 授業科目の履修にあたっては、指導教授の指示を受けなければならない。
- 科学技術英語は、英語を母国語としない学生の受講を推奨する。
- ウェブ教育Ⅱは、2年次以降受講科目である。
- 本表に掲げたものの他、主旨指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得できる）。
修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 修士論文の作成にあたっては、指導教授の研究指導を受けなければならない。
- バイオ・ナノサイエンス、先端ナノサイエンス・ナノテクノロジー、先端機器ワークショップⅢ、先端機器ワークショップⅣの4科目は、2014年度以降入学生の履修科目である。

博士後期課程

1. 原則としてバイオ・ナノサイエンス融合特殊研究Ⅰ～Ⅵの履修は、各学期に1科目ずつ順を追って履修登録しなければならない。
2. バイオ・ナノサイエンス融合研究指導を担当する教員の「研究指導」を各セメスタで履修登録しなければならない。

客員教授

大学院の教育研究の高度化・活性化・国際化を促進するため、学外研究機関等で活躍している研究者等に研究指導等をお願いしているので、指導を希望する場合は、所属の指導教員に申し出ること。

Harold Kroto	(Florida State University, USA)
John Walker	(University of Cambridge, UK)
Daniel Morse	(University of California Santa Barbara, USA)
Raymond Whitby	(Nazarbayev University, KAZ)
Régine Perzynski	(University Pierre and Marie Curie, France)
Nicole Grobert	(University of Oxford, UK)
Leonid Kalachev	(University of Montana, USA)
Parayanthala Valappil Mohanan	(Sree Chitra Tirunal Institute for Medical Sciences and Technology, INDIA)
板東 義雄	(国立研究開発法人 物質・材料研究機構)
出口 茂	(国立研究開発法人 海洋研究開発機構)
小林 徹	(国立研究開発法人 海洋研究開発機構)

ダブル・ディグリー・プログラム

この制度は、本学在学中に協定校へ正規留学および双方の大学へ学位論文を提出し、それぞれの大学の条件を満たすことで、修士号または博士号学位を双方の大学から取得できるプログラム（P.345の規定参照）である。詳細は教学課へ問い合わせること。